

「日本のために。」

● 木製ガードレールで地域雇用を創出

木製ガードレール設置を促進する「木の香る道づくり事業」が昨年から全国でスタートしました。

知事時代に信州で考案・実現した、鋼鉄製と同じ強度認定を受けた木製ガードレールは、間伐・製造から設置に至る全ての工程を地域の土木建設業者が担当可能。

鋼鉄製に比べ、1km当たり5倍の雇用を地元で創出します。国政へと転じてから、国レベルでの予算化を求めてきました。

兵庫県内でも今年度は淡路島で敷設されます。今後は川崎、尼崎

を始めとする公害を克服した都市部でも整備を進める、と衆議院国土交通委員会が道路局長が答弁。地域密着型の新しい公共事業として大いに期待されている木製ガードレールです。



● 休眠口座は国民の共有財産

「休眠口座」の社会的活用が2014年度から始まります。お金の出入れが10年以上行われず、預貯金主と連絡が付かない口座の残高は現在、金融機関の収益として日本では計上されています。法律の規定ではなく、全国銀行協会の内規に基づき、毎年1000億円近い金額に達しています。

休眠口座の預貯金は国民の共有財産と捉えるイギリスでは、「ビッグ・ソサエティ・バンク」構想が実現しました。女性の社会進出

や障害者の就労を支援するNPOを始めとする非営利団体に無担保・低利子で融資する原資として活用されています。

同様の取り組みを日本でも、と参議院議員時代から金融庁と交渉を重ね、衆議院本会議や予算委員会でも計7回、質疑を行い、この7月に公的活用が正式決定しました。

管理・運用する新たな機関が官僚の天下り先と化さぬよう、引き続き、監視を続けて参ります。

● 被災地支援 継続中



「3・11」当日、人工股関節の手術で県立尼崎病院に入院中でした。

官邸・県庁・東電から何の連絡もなく、一週間近く「棄民」状態に留め置かれていた南相馬の桜井勝延市長は、県知事時代からの友人。彼に官邸の直通電話をメールで伝え、医師の了解を得て退院を早め、一週間後に松葉杖を片手に新党日本のスタッフと被災地入りしました。

東京の大手町や表参道の街角でエスニック風味の弁当を販売

するアジアランチと連携し、避難所にランチカーを横付け。都合6種類の料理から2種類を選択頂き、ベトナムの米麺フォーが入った丼に盛り付けた温かい料理を差し上げました。

被災地でも人間は、お仕着せの支援でなく、自分で料理を選び、味わい、喜びを分かち合う瞬間が大切と感じたからです。

現在も月に1度、南相馬市の仮設住宅を整体師の方々と回る活動を継続中です。体をほぐして頂きながら、心の中の想いを問わず語り吐き出して頂く。しがらみとは無縁の、よそ者が訪れるからこそ、語って下さるのだと思います。

一人ひとりが、出来る事を、出来る時に、出来る所で、出来る限り。より良き日本を取り戻すべく奮闘し続けます。

● 首相官邸前の白い風船

毎週金曜夕刻、首相官邸前や国会正門前に、警察発表でも常時2万人を超える人々が集う「原発再稼働反対抗議集会」。

子供連れの母親、歩行杖を持った老夫婦、仕事帰りのサラリーマン&OL。労働組合や各種団体の旗を掲げた旧来型の動員デモとは異なり、自分の意思で国民一人ひとりが集う、日本で初めての新しいムーブメントです。

「3・11」以降の誰も責任を取らず、一向に機能しない間接民主主義を正すべく、僕も1人の国民として参加しています。

政治や行政、司法の腐敗に抗議して96年にベルギーのブリュッセルで、30万人の国民が白い風船を片手に家族連れで集った「純白の行進」にヒントを得て、非暴力・不服従を象徴する白い風船を、ボランティアの皆さんと共に毎回数千個、参加者に手渡ししています。

家族や隣人を、そして郷土を愛する一人ひとりの純粋な心根こそ、「信じられる日本」を再興する上での原動力。右頁の写真は、白い風船を手にした友人の勝谷誠彦さんとの1枚です。



皆さんの質問にお答えします!

Q & A

Q1 お住まいは?

阪神尼崎駅の南側、御園町のマンションです。

札幌育ちで日本航空の客室乗務員として20年余り勤務した10歳年下の妻の恵、尼崎中央商店街のペットショップで出会った愛犬ロッタと“3人”暮らし。

朝6時前にはトイプードルの“娘”と散歩しているのにお目に掛かるかも。駅西側ガード下のテッチャン鍋やすもりは、妻との行き付けです。

Q2 事務所の場所は?

尼崎中央商店街です。阪神尼崎駅からアーケードを三和本通りへ向かい、中程の4番街右側。1階はブティック・マギー。

2階の窓から等身大の着ぐるみヤッシーが手を振っています。年中無休。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。国会質疑や雑誌連載等の資料を差し上げます。

Q3 勝谷誠彦さんとは長い付き合いですか?

七松町の勝谷医院の“カッチャン”とは、編集者として文藝春秋社に彼が勤務していた頃からの知り合い。

知事時代には、ソムリエの田崎真也氏らと共に、日本初のワイン、日本酒、焼酎等の品質認定制度・長野県原産地呼称管理制度の委員を務めて頂きました。



無為無策な日本の政治や経済、社会を変えるべく、日々、メールや電話で連絡を取っています。

首相官邸前で一緒に白い風船を

Q4 新党日本について教えて下さい

長野県知事退任の翌年に立候補・当選した07年参議院議員選挙の全国比例代表で、新党日本は有効投票総数の3%を超える177万票を獲得。公職選挙法、政治資金規正法、政党助成法が規定する政党要件を満たす公党です。

大阪、神戸、京都、名古屋を始め複数の政令指定都市では社民党よりも多い票数を得ています。

松下政経塾出身の野田佳彦さんや前原誠司さんが初当選した90年代前半の日本新党とは、もちろん無関係です。

Q5 「カモシカ・ヤッシー」の秘密!

ヤッシーは、深夜TV番組「タモリ倶楽部」に登場するソラミストの安齋肇さんが、長野県の県獣カモシカを描いた独自キャラクターです。

その絵柄を元に、身体の不自由な1人の女性が幾度となく、お子さんと一緒にガラス張り知事室へ届けて下さったフェルト製の手作りブローチ。その裏側には「しなやか」「まけるな」といった文字が刺繍されていました。

大きな組織の意向に左右される知事でなく、真っ当に働き・学び・暮らす一人ひとりの住民・国民に奉仕する自分でありたい。信州でスーツの襟元に付けていたのは、そうした思いからです。

等身大の着ぐるみヤッシーは、今も尼崎事務所の2階で皆さんのお越しをお待ちしています。街でお目に掛かった際に差し上げている名刺の裏側にも、ヤッシー・シールが付いています。ピンクとグリーンの2種類。好きな所に貼ってね。



会いに来てね!

Yassy